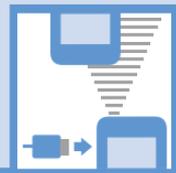


# 通信



赤外線通信 .....	13-2	Wi-Fi設定を確認／変更する .....	13-14
赤外線通信について .....	13-2	Wi-Fiコンテンツを利用する .....	13-15
赤外線通信を利用する .....	13-3	<b>便利な機能</b> .....	<b>13-16</b>
<b>Bluetooth®</b> .....	<b>13-5</b>	Bluetooth®に関する機能 .....	13-16
Bluetooth®について .....	13-5	Wi-Fiに関する機能 .....	13-16
Bluetooth®機器を検索して登録する .....	13-6		
Bluetooth®機器と接続する .....	13-6		
Bluetooth®機能を使って通話する .....	13-7		
Bluetooth®機能を使って音楽や音声などを再生する .....	13-7		
Bluetooth®機能を停止する .....	13-7		
Bluetooth®機器を接続待機にする .....	13-8		
<b>パソコン接続</b> .....	<b>13-9</b>		
USBドライバーについて .....	13-9		
データ転送 .....	13-9		
USBモードを設定する .....	13-9		
メモ리카ードのデータをパソコンで操作する .....	13-9		
データ通信について .....	13-10		
<b>Wi-Fi</b> .....	<b>13-11</b>		
Wi-Fiについて .....	13-11		
Wi-Fi機能を有効にする .....	13-11		
Wi-Fiに接続する .....	13-12		
優先接続先を設定する .....	13-14		
設定済みのアクセスポイントに接続する .....	13-14		

# 13



## 赤外線通信について

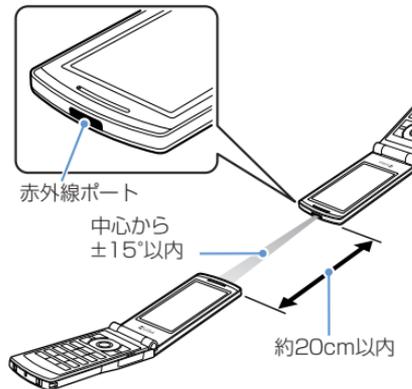
赤外線通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。転送できるデータは以下のとおりです。

- ・ 静止画（画像）
- ・ メロディ
- ・ 動画
- ・ マイ絵文字
- ・ ミュージック
- ・ 電子ブック
- ・ ウィジェットコンテンツ
- ・ PDFファイル
- ・ 電話帳、オーナー情報
- ・ スケジュール
- ・ To Doリスト
- ・ 受信メール、送信メール（S!メール、SMS）
- ・ 保存メール（S!メール、SMS）
- ・ テキストメモ
- ・ 定型文
- ・ ユーザ辞書
- ・ ブックマーク（Yahoo!ケータイ、PCサイトブラウザ）

## データを転送するときのご注意

- 相手側の機器の状態によっては、データを転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコレメールの内容などが正常に登録できない場合があります。
- データ転送中は圏外となり、音声電話やTVコール、インターネット、S!メールなどは利用できません。また、データ転送終了後、しばらく圏外の状態が続く場合があります。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。
- 通信状況を表すバー表示は転送した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。
- メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。

- 赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。



- 通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。



## 認証パスワードについて

データをまとめて転送するときは、送信側と受信側の機器を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信、受信をはじめの前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

## 赤外線通信を利用する

### データを1件送信する

送信したいデータの一覧画面／詳細画面から1件送信を行います。

**1** 各種データの一覧画面で目的のデータを選択／各種データの詳細画面    
  「赤外線送信」 

**2** 相手側の機器を受信状態にする

**3** 赤外線ポートを相手側の機器に向ける   
  「YES」    
 データの送信がはじまります。   
 送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信を中止する場合   
 

### 注意

- USIMカードに保存された電話帳は送信できません。

### 補足

- JPEG形式の画像データの場合は、一覧画面で  を押して高速赤外線通信を行うことができます。
- 画像データの高速赤外線通信では、相手側の機器が正常に受信できなかった場合でも、送信側では正常に終了します。

### データを1件受信する

**1**   「ツール」   「赤外線受信」   「受信」 

**2** 赤外線ポートを相手側の機器に向ける   
  相手側の機器がデータを送信   
 データの受信がはじまります。

■ 受信を中止する場合   
 

**3** 受信が終了したら「YES」 

受信したデータが登録されます。   
 受信後約30秒間操作しない場合は、受信したデータが破棄されます。

### データをまとめて送信する

送信したいデータの一覧画面／詳細画面から全件送信を行います。

**1** 各種データの一覧画面／詳細画面で    
  「赤外線全送信」  (  )

**2** 端末暗証番号を入力   認証パスワードを入力

**3** 相手側の機器を受信状態にする

**4** 赤外線ポートを相手側の機器に向ける   
  「YES」 

データの全送信がはじまります。   
 送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 全送信を中止する場合   
 

### 注意

- 静止画(画像)、メロディ、動画、マイ絵文字、ミュージック、電子ブック、ウィジェットコンテンツは全送信できません。
- USIMカードに保存された電話帳は送信できません。

### データをまとめて受信する

**1**   「ツール」   「赤外線受信」   「全受信」 

**2** 端末暗証番号を入力   認証パスワードを入力

**3** 赤外線ポートを相手側の機器に向ける   
  「YES」 

相手側の機器がデータを送信すると、データの全受信がはじまります。



### 4 上書き確認画面が表示されたら

「YES」  

データの全受信がはじまります。

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

#### ■ 全受信を中止する場合

#### 注意

- データを全受信すると、受信したデータにより本機に登録されていたデータは上書きされます。メールを全受信すると保護メール、電話帳やスケジュールを全受信すると登録されていたシークレットデータも含めすべてのデータが削除され上書きされます。
- データを受信中に最大登録・保存件数に達した場合は、その時点で受信は中止されます。

### もっと使いこなそう

#### 設定

##### 電話帳に関する設定

- 赤外線通信で電話帳の画像を転送しないようにする

(▶ P.14-12)

##### ボタンイルミネーションに関する設定

- 赤外線通信中のイルミネーションを設定する

(▶ P.14-30)



## Bluetooth® について

Bluetooth®とは、Bluetooth®対応機器（ワイヤレスヘッドセット、ハンズフリー機器、オーディオ機器など）をワイヤレスで接続し、データを送受信するための通信方式です。

本機のBluetooth®の仕様は以下のとおりです。

通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver.2.0+EDR 準拠
対応プロファイル	HSP: Headset Profile (ヘッドセット通信) HFP: Hands-Free Profile (ハンズフリー通話) A2DP: Advanced Audio Distribution Profile (ステレオ音声、高音質オーディオ通信) AVRCP Audio/Video Remote Control Profile (AV機器のリモコン機能)

## Bluetooth® 利用時のご注意

- 本機はすべての Bluetooth® 機器との接続/動作を保証するものではありません。
- 接続する Bluetooth® 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth® 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 相手機器が Bluetooth® 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続でき

なかったり、操作方法や表示、動作などが異なったり、データの送受信ができなかったりすることがあります。

- Bluetooth® 機器が使用する電波帯 (2.4GHz) は、いろいろな機器が共有して使用する電波帯です。このため、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が遮断されることがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするとき、接続機器や通信環境により雑音が入ることがあります。
- 著作権保護規格「SCMS-T」に非対応の Bluetooth® 機器では、テレビの音声を聴くことはできません。
- Bluetooth® 機器と無線 LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - ・ 3G 端末やワイヤレス接続する Bluetooth® 機器は、無線 LAN と 10m 以上離してください。
  - ・ 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN の電源を切ってください。

## 本機の Bluetooth® 通信サービス

ヘッドセットサービス	Bluetooth® 対応のワイヤレスヘッドセットと接続すると、ワイヤレス通話ができます。
ハンズフリーサービス	Bluetooth® 対応のカーナビなどと接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカーを使ってハンズフリーで通話ができます。
オーディオサービス	Bluetooth® 対応のワイヤレスヘッドホンやオーディオ機器と接続すると、ワイヤレスで音楽やテレビなどの音声を楽しめます。

## 注意

- ・ ワイヤレスヘッドセット、ハンズフリー対応機器と接続時に、着信音送出設定を「送らない」に設定し、イヤホン切替設定が「イヤホン+スピーカー」の場合は、本体からも着信音が鳴動します。



## Bluetooth® 機器を検索して登録する

Bluetooth® 機器を検索して登録します。

- 1 → 「ツール」 → → 「Bluetooth」 →



Bluetoothメニュー画面

- 2 「新規機器登録」 →

Bluetooth® 機器の検索がはじまります。  
検索が終了すると、検索に応答したBluetooth® 機器が登録機器リスト画面に表示されます。

- 3 登録したい機器を選択 → → 「YES」 →

■ Bluetooth® パスキーの入力が必要な場合

→ Bluetooth® パスキーを入力 →

送信側／受信側で同じBluetooth® パスキー（4～16桁）を入力します。

受信側は、送信側が入力したあと30秒以内に同じBluetooth® パスキーを入力してください。

相手がハンズフリー機器などのときは、ハンズフリー機器側で決められているBluetooth® パスキーを入力してください。

### 補足

- Bluetooth® 機器が登録されていないときは、Bluetoothメニュー画面で「登録機器リスト」を選択しても検索して登録できます。

## Bluetooth® 機器と接続する

登録したBluetooth® 機器と接続します。

- 1 【Bluetoothメニュー画面】で「登録機器リスト」 →



登録機器リスト画面

■ 新たにBluetooth® 対応機器を検索する場合  
→

- 2 目的の機器を選択 →

- 3 サービスを選択 →

Bluetooth® 機器と接続されると「 (青色)」が点滅します。一定時間、Bluetooth® 機器との通信がないと、省電力状態となり「 (黒色)」の点灯に変わります。

複数のサービスで接続できる機器のときは、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。



### ■ 接続中のサービスを停止する場合

⇨●⇨ [YES] ⇨●

### 登録機器リスト画面の見かた

登録されているBluetooth®機器の種別や対応サービスなどがアイコンで表示されます。



登録機器リスト画面

①	機種種別※1 : パソコン : AV機器 : 電話 : その他の機器
②	登録状態 : 登録済み : 未登録 (新規検出)
③	対応サービス※2 : ヘッドセットサービス : ハンズフリーサービス : オーディオサービス : リモコンサービス

④	機器名称 未登録の機器はBluetooth®アドレスが表示されます。
---	---------------------------------------

- ※1 保護されている機器には鍵マークがついたアイコンが表示されます。  
 ※2 対応サービスの状態を以下のように表示します。

表示例	文字	背景	枠	状態
	灰色	—	—	接続履歴なし
	白色	—	—	接続履歴あり
	白色	—	白色	接続待機中
	黒色	緑色	白色	接続中

### Bluetooth®機能を使って通話する

ヘッドセットサービスや、ハンズフリーサービスでBluetooth®機器と接続して、ワイヤレスで通話します。

- 1 目的のBluetooth®機器と接続する
- 2 Bluetooth®機器で電話をかける／受ける  
 を長押し (1秒以上) するたびに、Bluetooth®機器と本機で通話が切り替わります。

### Bluetooth®機能を使って音楽や音声などを再生する

オーディオサービスでBluetooth®機器と接続して、ミュージックプレーヤーの音楽やテレビの音声などを再生します。

- 1 目的のBluetooth®機器と接続する
- 2 音楽やテレビを再生する

#### 補足

- Bluetooth®機器で再生中の音量はBluetooth®機器側で調節できます。
- オーディオ機器とオーディオサービスで一度接続すると、接続履歴として記憶されます。本機のBluetooth®機能を有効 (Bluetoothオン) にしている場合、接続履歴があるオーディオ機器は音楽やテレビを再生する際に、自動的にオーディオサービスで接続されます。

### Bluetooth®機能を停止する

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、Bluetooth®機能をOFFにします。

- 1 【Bluetoothメニュー画面】で「Bluetoothオフ」⇨●⇨ [YES] ⇨●

**補足**

- Bluetooth®機能を有効にする場合は、以下のよう  
に操作します。  
【Bluetoothメニュー画面】で「Bluetoothオン」  
⇒

**Bluetooth® 機器を接続待機  
にする**

登録しているすべてのBluetooth®機能の接続待機  
状態を設定します。

**1** 【Bluetoothメニュー画面】で「接続待  
機」⇒

**2** 「全待機」⇒

## ■ サービスごとに設定する場合

⇒「個別設定」⇒⇒目的のサービスを選  
択⇒

チェックボックスにチェックをつけたサービ  
スが接続待機になります。

## ■ すべての接続待機を解除する場合

⇒「全解除」⇒

**もっと使いこなそう****便利な機能**

## Bluetooth®に関する機能

- 登録機器を保護する
- 登録機器の名称を変更する
- 登録機器を削除する
- 登録機器の情報を表示する

(▶ P.13-16)

**設定**

## Bluetooth®に関する設定

- Bluetooth®機器を検索する時間を設定する
- ヘッドセットやハンズフリー機器に音声電話/  
TVコールの着信音を送信するかどうかを設定す  
る
- 外部機器から電話をかけられるかどうかを設定す  
る
- 本機のBluetooth®機能の情報を確認する

(▶ P.14-32)



本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、以下の機能を利用できます。

- USBケーブルはオプション品です。

データ転送*	本機の電話帳やスケジュールおよびTo Doリストのデータをパソコンとやりとりできます (P.13-9)。
USB メモリ	メモ리카ードをセットした本機をパソコンの外部ドライブとして認識し、メモ리카ード内のファイルの読み出し/書き込みができます (P.13-9)。
MTPモード	「Windows Media® Player」を使用して、音楽データをメモ리카ードに登録することができます (P.9-4)。

\* あらかじめ、USBドライバーをインストールする必要があります。

## USBドライバーについて

USBドライバーは、本機とパソコンを接続するために必要なソフトウェアです。まずこのソフトウェアをパソコンにインストールしてください。インストール方法については、以下のサイトを参照してください。

<http://www.n-keitai.com/guide/download/>

## データ転送

ソフトバンクユーティリティソフトを使うと、USBケーブルでパソコンと本機を接続して、さまざまなデータをパソコン上で利用することができます。ソフトバンクユーティリティソフトについては以下のサイトを参照してください。

<http://www.n-keitai.com/guide/download/>

\* ソフトバンクユーティリティソフトを利用するにはUSBドライバーをインストールする必要があります。

## USBモードを設定する

パソコンと本機を接続してさまざまな機能を利用するためにUSBモードを設定します。ソフトバンクユーティリティソフトを使用する場合や、本機を外部モデムとしてパケット通信を行う場合は、「通信モード」に設定します。パソコンから本機に取り付けられたメモ리카ードのデータを操作する場合は、「microSDモード」に設定します。

- 1 → 「設定」 → → 「外部接続」  
→ → 「USBモード設定」 →
- 2 「通信モード」 / 「microSDモード」  
→

## メモ리카ードのデータをパソコンで操作する

本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、本機に取り付けられたメモ리카ード内のデータをパソコンから操作できます。

- あらかじめ「USBモード設定」を「microSDモード」に設定しておいてください。

- 1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続する  
パソコンからメモ리카ード内のデータを操作できるようになります。
- 2 操作が終わったら本機とパソコンをUSBケーブルから取り外す  
各OSの安全に取り外す方法でパソコンからUSBケーブルを取り外してください。

### 注意

- 本機とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- 本機の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。本機の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンから本機へのデータコピー中はUSBケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。



### データ通信について

本機をパソコンの外部モデムのように使って、パケット通信を行います。

- パソコンの通信設定などについては、ご契約されたプロバイダの説明書、またはお手持ちのパソコンの取扱説明書を参照してください。
- プロバイダ不要の「アクセスインターネット」でデータ通信をご利用になるときは、アクセスポイントや設定方法、サービス概要などを「サービスガイド 3G」でご確認ください。



## Wi-Fiについて

本機はWi-Fi通信に対応しています。Wi-Fiのエリアでは3G/GSM方式よりも高速なデータ通信を利用できます。

- Wi-Fiは国内でのみ利用できます。海外では、「ON/OFF設定」が「OFF」に切り替わり、Wi-Fiは利用できません。
- Wi-Fiを利用するには、「ON/OFF設定」を「ON」に設定しておく必要があります。初期設定は「ON」となりますので、Wi-Fiを利用しない場合は「OFF」に設定してください。「ON」にしている場合はWi-Fi接続を優先して使用します。
- ケータイWi-Fiでは、自宅の無線LANや公衆無線LANを利用してYahoo!ケータイに接続し、快適な無線LAN通信を楽しめます。

### 注意

- Wi-Fi通信使用中は電波状況の変化によって、自動で3G通信に切り替わることがあります。3G通信ではパケット通信料が発生しますのでご注意ください。通信が切り替わるときに、確認画面を表示するよう設定できます。  

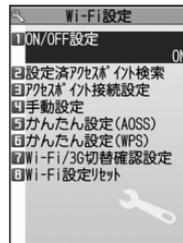
「Wi-Fi/3G切替確認設定」 「表示する」

### 補足

- Wi-Fiを利用するには、アクセスポイントなどの通信環境を別途準備する必要があります。
- ケータイWi-Fiを利用するには別途サービスに加入する必要があります。詳しくはお問い合わせ先(P.15-59)までご連絡ください。
- ケータイWi-Fiで対応しているサービスについては、ソフトバンクモバイルホームページ(<http://www.softbank.jp/>)をご覧ください。
- ダイレクト接続を利用すると、自宅の無線LANアクセスポイントや公衆無線LANアクセスポイントにPCサイトブラウザで接続できます(Yahoo!ケータイには接続できません)。
- Wi-Fi方式で利用できるのは、インターネットへの接続のみです。音声電話やTVコール使用時には3Gのサービスエリア内でご利用ください。

## Wi-Fi機能を有効にする

### 1 「設定」 「Wi-Fi設定」



Wi-Fi設定画面

### 2 「ON/OFF設定」 「ON」

3G方式のみでインターネットに接続する場合には「ON/OFF設定」を「OFF」にしてください。

### 注意

- 「ON/OFF設定」を行おうとしたときに、マルチタスクでほかの機能を起動していても「すでに他の機能が起動中です 設定できません」と表示されることがあります。この場合は、しばらく待ってから再度「ON/OFF設定」を行ってください。
- 「S!速報ニュース」を利用している場合、「Wi-Fi/3G切替確認設定」の設定にかかわらず、Wi-Fi圏外では確認画面を表示せずに3G通信で受信します。3G通信ではパケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- 従量課金制の公衆無線LANサービスを利用する場合、ログアウトの処理が行われるまで、利用料金がかかりますのでご注意ください。サービスの利用後はログアウトのため、ON/OFF設定を「OFF」にすることをおすすめします。
- ネットワーク（インターネット）接続型SIアプリは、Wi-Fi通信では利用できません。

### 補足

- 待受画面で を長押し（1秒以上）しても「ON/OFF設定」を行えます。
- ON/OFF設定を「ON」に変更したときは、自動的に「優先接続先設定」に登録したアクセスポイントを優先順に検索して接続します。



## Wi-Fi受信アイコンについて

通信モードによって、ディスプレイに表示される受信レベルのアイコンが変化します。

	3G通信で通信中
	ケータイWi-Fi接続で接続中
	ケータイWi-Fi接続で通信中
	ダイレクト接続で接続中
	ダイレクト接続で通信中
	Wi-Fi圏外

### 注意

- Wi-Fi圏外アイコン「」が表示されているときは、連続待受時間が短くなる場合がありますのでご注意ください。
- ダイレクト接続で通信する場合、接続中のアイコン「」が表示されていることを確認し、使用してください。
- ケータイWi-Fi接続で接続する場合、ケータイWi-Fi接続中アイコン「」が表示されていることを確認し、使用してください。

## Wi-Fiに接続する

Wi-Fiに接続するために必要な設定を簡単な操作で行えます。

- Bluetooth®機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、

Bluetooth®機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、本機とBluetooth®機器を接続中に無線LANを使用した場合にも同様の事象が発生することがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- 3G端末やワイヤレス接続するBluetooth®機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth®機器の電源を切ってください。
- 本機のBluetooth®機能と同時に使用しないでください。

## かんたん設定 (AOSS) で接続する

AOSSはアクセスポイントのボタンを押すだけで簡単にWi-Fi接続することができる機能です。

- アクセスポイントがAOSSに対応している場合のみ利用できます。

### 1 【Wi-Fi設定画面】で「かんたん設定 (AOSS)」

### 2 「YES」 / 「NO」

3 アクセスポイントのAOSSボタンをランプが点滅するまで押し  
プロファイルの登録が完了し、Wi-Fiに接続します。

### 注意

- AOSSの設定中は圏外となり、音声電話やTVコール、インターネット、S!メールなどは利用できません。また、設定が失敗すると、しばらく圏外の状態が続く場合があります。

### 補足

- かんたん設定 (AOSS) でプロファイルの設定を行った場合、自動的に優先接続先設定にプロファイルが登録されます。

## かんたん設定 (WPS) で接続する

WPSは、「PINコード入力方式」または「プッシュボタン方式」の設定方式を利用してWi-Fi接続するための機能です。

- アクセスポイントがWPSに対応している場合のみ利用できます。

### 1 【Wi-Fi設定画面】で「かんたん設定 (WPS)」

### 2 「YES」 / 「NO」

▶ PINコード入力方式で設定する場合  
「PINコード入力方式」→アクセスポイントを選択→表示されたPINコードをアクセスポイントに入力

▶ プッシュボタン方式で設定する場合  
「プッシュボタン方式」→アクセスポイントのプッシュボタンを押す  
プロファイルの登録が完了し、Wi-Fiに接続します。



## 注意

- WPSの設定中は圏外となり、音声電話やTVコー、インターネット、S!メールなどは利用できません。また、設定が失敗すると、しばらく圏外の状態が続く場合があります。

## 補足

- かんたん設定 (WPS) でプロファイルの設定を行った場合、自動的に優先接続先設定にプロファイルが登録されます。

## アクセスポイントを検索して接続する

- 1 【Wi-Fi設定画面】で「アクセスポイント接続設定」⇒「アクセスポイント検索」⇒
- 2 接続したいアクセスポイントを選択⇒  
 ⓘが表示されているアクセスポイントを選択した場合は、「セキュリティ方式設定」(P.14-33)でセキュリティキーの入力が必要となります。
- 3 「YES」⇒
- 4 各項目を設定⇒  
 設定できる項目についてはP.14-32を参照してください。  
 プロファイルに登録されます。

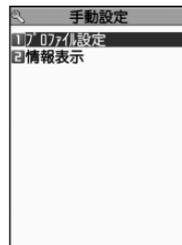
## 補足

- アクセスポイントを検索してプロファイルの設定を行った場合、自動的に優先接続先設定にプロファイルが登録されます。

## プロファイルごとに設定して接続する

プロファイルごとに内容を個別に設定して接続することができます。

- 1 【Wi-Fi設定画面】で「手動設定」⇒



手動設定画面

- 2 「プロファイル設定」⇒「プロファイルを選択」⇒
- 3 各項目を設定⇒(2回)⇒(完了) 設定できる項目についてはP.14-32を参照してください。
- 4 優先接続先 (P.13-14) に設定する

## BBモバイルポイントに接続する

本機にはBBモバイルポイントのプロファイルが初期登録されています。IDとパスワードを設定するだけで、簡単に接続することができます。

- BBモバイルポイントはソフトバンクテレコム株式会社が提供するプロバイダ対応の公衆無線LANサービスです。空港やカフェ、ファストフード店などBBモバイルポイントのステッカーのあるエリアで利用できます。ケータイWi-Fiサービスに加入すればBBモバイルポイントを無料で利用できます。

- 1 【手動設定画面】で「プロファイル設定」⇒「BBモバイルポイント」⇒
- 2 「公衆無線LAN設定」⇒「ON」⇒
- 3 「ID」⇒IDを入力⇒
- 4 「パスワード」⇒パスワードを入力⇒
- 5 ☑ (3回) ⇒☑ (完了)
- 6 優先接続先 (P.13-14) に設定する

**注意**

- 「ID」、「パスワード」以外のプロフィールを変更した場合、BBモバイルポイントに接続できなくなることがあります。誤って変更した場合にはプロフィールの初期化 (P.13-14) を行ってください。プロフィール初期化後は、「BBモバイルポイントに接続する」の手順で再度設定を行ってください。

**優先接続先を設定する**

Wi-Fi接続するときに優先して使用する接続先 (アクセスポイント) を設定します。

- 1 【Wi-Fi設定画面】で「アクセスポイント接続設定」⇨●
- 2 「優先接続先設定」⇨●



優先接続先設定画面

- 3 優先順位を選択⇨●⇨プロフィールを選択⇨●⇨☑

**設定済みのアクセスポイントに接続する**

優先接続先設定に登録したアクセスポイントを優先順に検索して接続します。

- 1 【Wi-Fi設定画面】で「設定済アクセスポイント検索」⇨●

**注意**

- 「設定済アクセスポイント検索」を行おうとしたときに、マルチタスクでほかの機能を起動していなくても「すでに他の機能が起動中です 設定できません」と表示されることがあります。この場合は、しばらく待ってから再度「設定済アクセスポイント検索」を行ってください。
- 設定済みのアクセスポイントのエリアに入った場合は、自動的に接続します。

**補足**

- 待受画面で●を長押し (1秒以上) しても、「設定済アクセスポイント検索」を行えます。

**Wi-Fi設定を確認/変更する****プロフィール設定を確認する**

- 1 【手動設定画面】で「プロフィール設定」⇨●⇨プロフィールを選択⇨●
- 2 確認したい設定を選択⇨☑

**プロフィール設定を変更する**

- 1 【手動設定画面】で「プロフィール設定」⇨●⇨プロフィールを選択⇨●
- 2 各項目を変更⇨☑ (2回) ⇨☑ (完了) 変更できる項目についてはP.14-32を参照してください。

**プロフィールをコピーする**

- 1 【手動設定画面】で「プロフィール設定」⇨●⇨コピーするプロフィールを選択⇨☑
- 2 「コピー」⇨●⇨コピー先のプロファイルを選択⇨●⇨「YES」⇨●
- 3 ☑⇨☑ (完了) プロファイル名以外のすべての項目がコピーされます。

**プロフィール設定を初期化する**

- 1 【手動設定画面】で「プロフィール設定」⇨●
- 2 初期化したいプロフィールを選択⇨☑⇨「プロフィール初期化」⇨●⇨「YES」⇨●⇨☑⇨☑ (完了)



### 注意

- 優先接続先設定に登録したプロフィールを初期化した場合、優先接続先設定からも削除されません。

### 接続状態とMACアドレスを確認する

1 【手動設定画面】で「情報表示」⇒●

2 「接続ステータス」／「MACアドレス」⇒●

接続ステータス	接続プロフィール名、ESSID、接続中チャンネルの状態を表示します。●を押すと接続ステータスを更新します。
MACアドレス	Wi-Fiでホストを識別するために設定される固有のハードウェアアドレスを参照します。

### 注意

- MACアドレスは、初期状態では「00:00:00:00:00:00」と表示されます。Wi-Fi機能を利用すると、正しいMACアドレスが反映されます。

### Wi-Fiコンテンツを利用する

Wi-Fiコンテンツを利用すると、簡単に大容量の動画を楽しむことができます。

1 MENU ⇒ 「ニュース／エンタメ」 ⇒ ● ⇒

「Wi-Fiコンテンツを探す」 ⇒ ●

以降は、画面の指示に従って操作してください。

### もっと使いこなそう

#### 便利な機能

Wi-Fiに関する機能

- 優先接続先を追加する
- 優先接続先を上書きする
- 優先接続先を挿入する
- 優先接続先を削除する
- 優先接続先の優先順位を変更する

▶ P.13-16

#### 設定

Wi-Fiに関する設定

- Wi-Fi／3G切り替え時に確認画面を表示するかどうかを設定する
- Wi-Fi設定を初期状態に戻す
- プロファイル名を変更する
- ESSIDを設定する
- 無線モードの設定を選択する
- IPアドレスを設定する
- DNSサーバーを設定する
- HTTPプロキシサーバーを使用する
- セキュリティ方式を設定する
- 公衆無線LANを使用できるように設定する
- 通信モードを設定する

▶ P.14-32



## Bluetooth®に関する機能

### 開始画面はここから

【登録機器リスト画面】 ..... P.13-6、P.13-7

### 登録機器を保護する

【登録機器リスト画面】 → 目的の機器を選択 → → 「保護設定」 →

すでに保護されている場合、「保護設定」を選択すると保護が解除されます。

### 登録機器の名称を変更する

【登録機器リスト画面】 → 目的の機器を選択 → → 「機器名称変更」 → → 名称を入力 →

### 登録機器を削除する

【登録機器リスト画面】 → 削除する機器を選択 → → 「登録機器削除」 → → 「YES」 →

### 登録機器の情報を表示する

【登録機器リスト画面】 → 目的の機器を選択 → → 「登録機器情報表示」 →

## Wi-Fiに関する機能

### 開始画面はここから

【優先接続先設定画面】 ..... P.13-14

### 優先接続先を追加する

【優先接続先設定画面】 → → 「追加」 → → 追加するプロファイルを選択 → →

優先順位が一番低いプロファイルとして追加されます。

### 優先接続先を上書きする

【優先接続先設定画面】 → 上書きするプロファイルを選択 → → 「上書き」 → → 上書きしたいプロファイルを選択 → →

### 優先接続先を挿入する

【優先接続先設定画面】 → 挿入したい順位を選択 → → 「挿入」 → → 挿入したいプロファイルを選択 → →

### 優先接続先を削除する

【優先接続先設定画面】 → 削除するプロファイルを選択 → → 「削除」 → → 「YES」 → →

### 優先接続先の優先順位を変更する

【優先接続先設定画面】 → 優先順位を変更するプロファイルを選択 → → 「優先順位の変更」 → → 優先順位を変更したいプロファイルを選択 → →